

東海労伊勢運ニュース

2012年11月20日

JR東海労伊勢運輸区分会

発行責任者：東 敏也

編集者：教宣部

苦労した者にさらに追い打ちをかける線見反対！

2012年3月17日、紀伊長島駅の乗務員配置廃止に伴い紀伊長島駅の19名の乗務員は、強制的に伊勢運輸区への転勤が余儀なくされました。会社は以前から準備を進めていたとみえて、平成採用者には南勢地区からの通勤者はいませんでした。国鉄採用者には紀伊長島駅より南からの通勤者もいました。その結果、別居手当の付くような単身赴任が発生してしまいました。当分会の谷口さんは、単身で松阪の寮に住みながら伊勢運輸区へ通っています。

地域に精通した運転が必要

私たち伊勢運輸区分会は乗務員配置廃止提案がされたときから、多気駅～新宮駅間140kmの安全の確保に疑問を投げてきました。荷坂峠を越えて続く紀勢線は専門性の高い特殊線区であり津波の危険の高い地区です。地理や風土に精通し経験を重ねた運転士が必要です。

線見の強要反対！

3月に強制的に転勤が行われ若い運転士から多気駅～名古屋駅間等の線見が行われてきました。会社とすれば全乗務員を全ての線区に乗務させられることにより効率的な運用を目指していることは目に見えています。しかし、効率的のみで、また社員の努力のみで安全は保たれるものなのでしょうか。大いに疑問です。そして、12月からは国鉄採用者の見習いも始まろうとしています。50歳を超えてから新たな線路、経験したことの無い速度での運転など苦労の上乗せをさせようとしています。職場の若い乗務員などは「年取って転勤してそして線見。大変だ」と話しています。

「申」提出だ！

JR東海労伊勢運輸区分会は、この問題について三重県協議会と話し合いを進め三重支店に申し入れを行いました。会社は苦労した者にさらに追い打ちをかける線見を直ちにやめるように要求します。

JR東海労働組合三重県協議会 甲第7号

東海旅客鉄道株式会社

2012年11月14日

三重支店支店長 河合 晃男 殿

JR東海労働組合三重県協議会

議長 中西健二

伊勢運輸区での紀伊長島駅からの転勤者の線見についての申し入れ
運輸区において紀伊長島駅からの転勤者に対して順次、関西線・参宮線・紀勢線(多気～亀山)の線路見習いを実施しているが、安全上問題がある。以下の通り申し入れを行うので早急に業務委員会を開催すること。

記

1. 平成25年ダイヤ改正以降も紀伊長島駅転勤者の高齢者交番として紀勢線専門組を継続させること。
2. 紀伊長島駅からの転勤者JNR採用者(6名)は線見をさせないこと。
3. 運転士の年代別事故発生件数を明らかにすること
4. 平成24年11月現在の伊勢運輸区運転士の年休消化日数を明らかにする

～レ